

聖礼典(洗礼と聖餐式)の意味と目的

原田元道

洗礼の形式

- ・ 全身を水中に浸して水から引き揚げる浸礼(しんれい)
- ・ 頭上に水を注ぎかける注礼(ちゅうれい)もしくは滴礼(てきれい)

洗礼の意味

- ・ キリストと共に罪に死んで新しい命に歩む
 「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。死んだ者は、罪から解放されています。」(ローマ 6:4-7 ; 比較 : II コリント 5:17)
 - 「全身を水中に浸す」 → 「キリストと共に罪に対して死んだ」
 - 「水から引き揚げる」 → 「キリストと共によみがえって新しいいのちに歩む」
- ・ 神・キリスト・聖霊およびキリストの体(教会)に属する者となる
 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け」(マタイ 28:19)
 「すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となるということです。」(エフェソ 3:6 ; 比較 : エフェソ 2:18-19)

⇒三位一体の神の家族の一員として、キリストと共に罪に死んで新しい人生を歩む

洗礼の目的

- ・ 三位一体の神への信仰・信頼を公に表明する
 「人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、『兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか』と言った。すると、ペトロは彼らに言った。『悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。』」(使徒 2:37-38)
 「二人を外へ連れ出して言った。『先生方、救われるためにはどうすべきでしょうか。』二人は言った。『主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。』そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。まだ真夜中であったが、看守は二人を連れて行って打ち傷を洗ってやり、自分も家族の者も皆すぐに洗礼を受けた。」(使徒 16:30-33)
 →行動でもって、悔い改めと信仰を明らかにする
- ・ 三位一体の神からの祝福を受け取る
 - 受洗の決断に表れる神への従順さ・誠実さ←神による救いの御業
 - 洗礼の意味の再確認
 - 神の家族が増えたことの喜び
 「言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある」(ルカ 15:7)

⇒受洗者だけでなく目撃者も皆、神の恵み・祝福を受ける

聖餐式の意味

- ・ 聖餐式で食するパンは十字架に架けられたイエスのからだを象徴する
「主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、『これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい』と
言われました。」(I コリント 11:23-24)
「この御心に基づいて、ただ一度イエス・キリストの体が献げられたことにより、わたした
ちは聖なる者とされたのです。」(ヘブライ 10:10)
 - ・ 聖餐式で飲む杯は十字架で流されたイエスの血(死)による新しい契約を象徴する
「また、食事の後で、杯も同じようにして、『この杯は、わたしの血によって立てられる新し
い契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい』と
言われました。」(I コリント 11:25)
「こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者なのです。それは、最初の契約の下で犯
された罪の贖いとして、キリストが死んでくださったので、召された者たちが、既に約束さ
れている永遠の財産を受け継ぐためにほかなりません。」(ヘブライ 9:15)
 - ・ 聖餐式で一つのパンを分け合うことは教会内の一致を象徴する
「わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか。パンは一つだから、
わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです。」(I コリント
10:16-17)
 - ・ 聖餐式で皆がパンを食べ杯を飲むことはイエス再臨後の神の国での宴会を象徴する
「あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが神の国に入っている
のに、自分は外に投げ出されることになり、そこで泣きわめいて歯ぎしりする。そして人々
は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」(ルカ 13:28-29)
「だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の
死を告げ知らせるのです。」(I コリント 11:26)
- ⇒イエスにある過去(十字架と復活)、現在(教会内の一致)、未来(再臨・救い)を象徴する

聖餐式の目的

- ・ 聖餐式に込められた象徴的意味を思い起こす
 - 神・イエスが成してくださった出来事(十字架と復活)を振り返る
 - この世におけるクリスチャン同士および神とのつながりを確認する
 - 来るべきイエスの再臨と救いの完成を待ち望む

⇒神の御業を覚え、神に対する感謝と喜びに満たされ、神への愛と信仰が新たにされる

まとめ(聖礼典の意味と目的)

- ・ 洗礼の意味：神の家族の一員として、キリストと共に罪に死んで新しい人生を歩む
- ・ 洗礼の目的：受洗者が神への信仰・信頼を公に表明することで、参加者全員が神からの恵み
と祝福を受け取る
- ・ 聖餐式の意味：イエスにある過去(十字架と復活)、現在(教会内の一致)、未来(再臨・救い)
を象徴的に表す
- ・ 聖餐式の目的：神の御業を覚えることで、神に対する感謝と喜びに満たされ、神への愛と信
仰が新たにされる

聖礼典を通して神の御業を覚え
神の恵みと祝福が豊かに溢れますように

ブログ(<https://fortheperson.jp>)もご覧ください